



第9回東京都フロアホッケー交流競技大会開催要項

1 大会の名称

第9回東京都フロアホッケー交流競技大会（以下「本大会」という）

2 開催趣旨

フロアホッケーは、年齢・性別・障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめるユニバーサルスポーツです。

本大会では大会特別ルールを設け、重度障害者に対し第三者によるプレー中のサポートを可能とします。従ってより幅の広い方々が参加でき楽しめる大会となり、眞のインクルージョン社会の創造を目指す大会とします。

また、葛飾区との共同開催により、東京都フロアホッケー連盟の拠点である葛飾区での普及啓発をより活発化させ、いずれは東京都全体に輪が広がるようつなげてまいります。

3 主催

東京都フロアホッケー連盟（以下「都連」という）

4 共催

葛飾区、葛飾区教育委員会

5 運営

第9回東京都フロアホッケー交流競技大会事務局

6 後援・協力（予定）

特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟（以下「日本連盟」という）、ゆうきのつばさイベント実行委員会、実践女子大学、明星大学、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京、

特定非営利活動法人ゆう、トーエイライト株式会社、東京ヴェルディ株式会社（予定）

7 期日

令和8年1月17日（土）

8 会場

葛飾区奥戸総合スポーツセンター 体育館（東京都葛飾区奥戸7-17-1）



9 競技種別

- ① チーム競技（一般の部）
- ② チーム競技（緩やかな試合）
- ③ 体験会・交流会

10 日程（予定）

1月17日（土）

8:30～	チーム受付（エントランス前のテント）
8:50～	会場入り
9:10～	監督・コーチ会議
9:30～	開会式
10:15～	競技
16:00～	閉会式

11 チーム競技参加チーム数

14チーム（一般の部）

12 参加資格

① チーム競技

都連に加盟する団体に所属する選手。

チーム競技においては、ベンチ入りは11名以上16名以内とする。

② チーム競技（一般の部）

加盟団体に所属している中学生以上の者。

③ チーム競技（緩やかな試合）

重度障がい者に配慮する試合を希望するチーム等。

④ 体験会・交流会

障がいのあるなしにかかわらず、老若男女、小さい子もふくめ、どなたの参加も可能とする。

13 参加チームの責務

① 運営への参加

本大会の主旨、大会特別ルール、注意事項などを共有し、運営について協議・確認するため12月14日(日)に代表者会議を開催する。チーム代表者若しくは関係者は参加のこと。各団体へボランティア派遣を要請する

② チームサポーターの活動

本大会では各チームの責任において「試合時間管理」、「お弁当管理」、「用具管理」を担っていただき、本大会当日の円滑な運営及び自己管理に努めること。



③ テーブルオフィシャルのチーム帯同

都大会ではテーブルオフィシャルのチーム帯同を推進します。本大会では各チームの試合の後は、原則テーブルオフィシャルを担当する。人員が不足またはサポートの必要な場合は専任者が加わる。

④ レフェリー

レフェリーのチーム帯同を推奨する。

14 クラス分けについて

チーム競技（一般の部）

チームの過去に参加した大会及び自己申告等に基づいて、事務局にて仮ディビジョンングを行い、大会当日のクラシフィケーション試合により、クラス分けをする。

15 競技規則

日本連盟のルールに準じて行う。

16 本大会特別ルール

上記「15 競技規則」のほか、本大会特別ルールにも準じて行うこととする。

【概要】

・サポートエンジェル

プレーの判断に補助が必要な選手が出場する際に、1 ラインに 1 名のサポートをチーム競技参加者より、コート内に帯同することを可能とする。

・ヘルメットの装着

装着の有無は各自の判断に任せることとする。ゴーリーの装着は必須とする。

17 本大会の競技における注意事項

本大会は、交流会としての主旨も有しており、競技中の接触（故意、偶然問わず）については、厳正に対処するとともに、再発防止のため競技中のレフェリーによる両チームへの指導を徹底して行うこととする。

18 コート

日本連盟公認のバウンダリーボード（ウレタン製）を使用する。

19 競技用具

① 原則参加者が用意する。

② チーム競技においては木製かファイバーグラス製のスティックを使用する。

なお、日本連盟よりお知らせのあった、「スティックについて保護」（スティック補強）について準じた仕様であること。



- ③ チーム競技における防具の使用条件は下記の通りとする。
- 1) 手袋（クッション性のあるスキー手袋等）、すね当ては使用を必須とする。
 - 2) ひざ当て、ひじ当て等は使用を推奨する。
 - 3) ゴールキーパーが使用するキーパー用スティックは、床の損傷を防ぐ目的から、大会実行委員会の確認を受けることとする。
- ④ ヘルメット、スティック、ゴールキーパー用スティック、ゴールキーパー用レガースについて、都連から貸し出しを希望するチームは別途申込むこと。

20 参加料

チーム参加費	1チームあたり8,000円
参加者（選手、コーチ、サポーター、緩やかな試合参加者）	1名あたり1,000円

- * 保険については原則、各チーム、各個人で加入の上参加することとする。
- * 保険未加入者のケガ等は、各個人の責任となりますのでご承知下さい。
- * 各チームの練習時における保障の為にも保険加入を推奨いたします。

21 表彰

交流大会でもある大会の主旨を鑑みて試合結果を公表し、チームへ記録証を授与する。プレーヤー、コーチ、チームサポーターに記念品を授与する。

22 交通費、宿泊費、食事代

会場までの交通費・宿泊費、食事代は参加者が負担する。

23 参加申込方法

「第9回東京都フロアホッケー交流競技大会 参加申込書」に記入の上、電子メール送信してください。

24 申し込み 《締切厳守》

参加申し込み：令和7年11月21日（金）までに提出

参加申し込み後の流れ

参加申込された団体へ登録票など改めて配信します。

- ・チーム戦選手登録　：令和7年12月12日（金）までに提出
- ・参加料　：令和7年12月22日（月）までにお振込をお願いいたします。

※支出済みの費用を踏まえ、参加費の返金は致しかねます。ご了承願います。



25 振込先

ゆうちょ銀行

口座番号 10100-72596261

口座名義 東京都フロアホッケー連盟

●他金融機関よりお振込の場合

店番〇一八（ゼロイチハチ） 普通7259626

26 申し込み・問い合わせ先

東京都フロアホッケー連盟事務局内

第9回東京都フロアホッケー競技大会事務局

〒124-0005 東京都葛飾区宝町1-13-11

メール : tokyo.fh.jimu@gmail.com